

足利銀行が国有化になりました

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。この番組は大人の方はお聴きになっていますので、大人の勉強の一つとして足利銀行が国有化になりましたけれども、誰が悪いとこれが悪いというようなことで色々な意見がありますけれども、一つの考えとして他人のせいにするのもいいかもしれませんが、一つはガバナンスといいますか、足利銀行を取り巻く栃木県内にはコーポレートガバナンスという考えなかったのが一つの原因ではないかと私は思います。今日はそのお話をさせて頂きます。耳に痛いことを行って貰う仕組みのことをコーポレートガバナンス企業統治といいます。たまたま私が日本コーポレートガバナンスフォーラムという学会とか、世界期間投資家が入っているグローバルコーポレートガバナンスネットワークという団体の個人会員として入っているので随分コーポレートガバナンスについては勉強させて頂きました。栃木県の一番足りない物の一つは耳に痛いことを聞く仕組みじゃないかとおもうのですが、いくつか足利銀行の国有化に至っては色々な原因が在るでしょうけれどもその中の一つとしてコーポレートガバナンスが耳に痛いことを聞く仕組みがなかったということが上げられます。具体的には役員会、取締役会とか役員会それから監査役、経営諮問会というのがありましたけれどもその方々が十分な働きをしなかったということもあるとおもいます。身を挺してこんな事をやらない方がいいよということを耳に痛いことを経営されている方にうまく伝えることができなかつたそれができなかったということが一つの大きな理由かも知れません。それから経済団体に経済同友会が今一所懸命やっていますけども経済同友会は私も入らせてもらっていますが、経済同友会を含めいろんな経済団体がたくさんあります。その経済団体が、コーポレートガバナンスについての勉強をあまりしなかったというのがあります。地域金融はどうあるべきか信用金庫がいくつか倒産をしたわけです。それから足利銀行が大変な状況であるということが5年前からわかっていたにもかかわらずそのような地域金融のあるべき姿とかコーポレートガバナンスに耳に痛いことを銀行の中で検討すべきかということについての議論を全くしなかったというそのような経済界の責任もあります。これが二つめです。あとは株主です。私も少ないながら足利銀行の株主になっていたのですが私にも責任があります。あと株主の皆さんがモニタリングといいまして耳に痛いことを会社に言うというような義務があるわけですがけれども権利も在るけれど義務もあるわけです。ということを果たさなかつたそれから機関投資家である栃木県、市町村もそのようなモニタリングという耳に痛いことをきちんと伝えることを怠ったというようなことも大きな原因かも知れません。私もその中の一人であります。経済界、経済同友会に私入らせて頂いてますが私も責任があると自覚しております。それから最後ですけれども足利銀行にお金をだしてくれるのは日本銀行ですよね。それから地方銀行はメインバンクである日本銀行のガバナンスが聞かなかつた。具体的に言いますと栃木県内には日本銀行の支店がないわけですから群馬県には前

橋支店があります。茨城県には水戸に事務所とか出張所みたいのがあります。そういうところの方々が一所懸命県内の銀行とか信用金庫を回って色んな指導をしたりするわけですがそれは栃木県には足利銀行の地下に日本銀行の金庫があります。その関係であまり日本銀行のガバナンスが効かなかったということがあります。この4つくらいが原因しておそらく足利銀行が今のような状況になっていったかもしれません。もちろん金融庁のやり方が悪いとか、監査放任である青山さんという監査のやり方が悪いということも在ると思うのですが、それから不良債権をたくさん作ってしまった足利銀行、お金を借りた経営者の方がもっとがんばればよかったということもあると思うのですが、色々な原因の一つとして耳に痛いことを聞くしくみが少し欠けていたということが、私も最近感じられます。私自身も株主であり経済団体の中でメンバーにいますので、非常に責任を感じております。これから問題点を先送りにしないで、どのように地域の金融機関はあるべきかとか、耳に痛いことを聞くしくみをどのように作るかということをし少し反省を踏まえながら考えることが、大きなお金を県民の方始め色んな方々が出していただいたそのことについてのお詫びになるかと思えます。そう言うことを反省しないで議論を先に進めていっては少しまずいのかなと思ひまして、今日はちょっと耳に痛い話しです。自分自身についても耳に痛い話ですけれどももさせていたただきました。最後に毎回お願いしていますけれども、やはり栃木県の観光地が今非常に大変な状況にあるということをし少しお聞きしますので、助ける意味でできるだけ栃木県の方々、私も含めてちょっと疲れが気味の方、2月3月4月1か月に1回でいいですから、日帰り温泉でもいいですから、是非栃木県の観光地、温泉地に行って疲れを癒すということを県民運動としてやっていただければありがたいなと思ひます。それから、いつも経済団体行っておねがいしているのですが、栃木県の中にはすばらしい進出企業という全国的規模でやっている企業があります。その企業の方々が少しでも栃木県の会社とか地場産業を活用して頂いて、栃木県の中から買い上げて頂く金額を少しでも多くして頂きたい。ただ条件が厳しくてまた、レベルが低いということも在るかと思ひますがその場合は十分育成して頂くという温かい心を持って頂ければ、栃木県の産業ももっと活性化します。是非元気を出して、反省することは反省して、それからできることは県民一人一人協力してやるということにとりあえず、2月はゆっくり過ごすのに一番良い時ですので栃木県内の御自分で一番良いこれがいいという温泉に1泊2日とか出来ない方は日帰りでも良いですから、是非行って頂いてそして温泉地を活性化していただければと思ひます。それがまた我々県民にとっても元気が出る元ですので是非県民運動として2月3月4月は1日、日帰りでもいいですから、栃木県温泉に行こうということをお披露目して頂きたいとおもいます。よろしくお願ひします。